



三愛学園

児童養護施設さんあい

一時保護施設

三愛子ひつじ寮

社会福祉法人 三愛学園

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

Tel 048-585-0605 Fax 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL san-ai-jidouyougo.org



SANNAI GAKUEN

「おふくろの味・特別な料理」

社会福祉法人三愛学園理事長 高瀬一使徒

新年明けましておめでとうございます。

お正月というと、私の子ども時代は母が大晦日の夜まで台所でセッセとおせち料理をつくり、それらを三段重ねのお重につめてくれ、元日の朝に家族みんなで食べるのが常でした。ですので、私にとっておせち料理は「おふくろの味」の一つでお正月には欠かせないものです。特にお重に入った煮豆や田作り、筑前煮を食べると今でも亡き母を思い出します。皆さんにも「おふくろの味」と言われる料理があるのではないか? 「おふくろの味」は、子ども時代の母親や家族の思い出、幸福感、愛情、安心感等を想起させるものです。世の中に美味しいものは沢山あります。豪華な料理も沢山あります。でも家族の思い出や愛情を想起させるものではありません。「おふくろの味は」その人にとって特別な料理です。1万円札のデザインになった深谷市出身の偉人渋沢栄一の特別な料理は郷土料理の「煮ぼうとう」だったようです。彼は出世して東京で暮らすようになっても、故郷に帰って「煮ぼうとう」を食べるのが至極の喜びでした。私は出汁をとった煮干しと家で採れたネギしか入っていなかった我が家「煮ぼうとう」が大嫌いでした。子どもの頃、特に冬の夕飯は毎日のように食べさせられ、「贅沢言ふんじゃない!」とよく父から活を入れられながら麺をすすった記憶があります。しかし大人になり貧しい暮らしの中で一生懸命に育ってくれた親を想うにつれ、渋沢翁と同じく「煮ぼうとう」が特別な料理になりました。

さて、児童養護施設で暮らす子どもたちにとって「おふくろの味」と言えるような料理に出会うことはあるのでしょうか? 母親との関係が継続している子たちは、ある特定な料理と母親との楽しい記憶がセットになって「おふくろの味」として記憶されてゆくかもしれません。また母親や家族との関係が薄い子もたくさんいます。それらの子たちにとって、食べた瞬間、匂った瞬間に家族との思い出を想起されるような料理と出会うことは難しいかもしれません。でも施設の生活の中で楽しい思い出や愛情、幸福感を想起するような特別な料理ができることは十分に可能です。聖書に記されている格言に「憎む者といっしょにごちそうを食べるより、愛する人と質素な食事をするほうが幸せです。」というものがあります。子どもたちにとって特別な料理になるには、まず料理を作り一緒に食べる職員と関係が愛情や幸福感に満たされたものでなければなりません。その関係があるなら嫌いなものでも職員が作ってくれた料理が、特別な料理になるかもしれません。さんあいのベテラン栄養士さんは、交流ホールにみんなが集まる大きな行事の際によく美味しい「豚汁」を作ってくれます。子どもたちはこれが大好きで、お替わりする子もいます。ホールの片隅に置かれている大きな豚汁鍋でおかわりする子の様子を見ていると「豚汁が、あの子たちにとってさんあいの楽しい行事を想起する特別な料理になってくれたらいいなー」という思いになります。

子どもたちにとってさんあいでの生活が楽しい記憶、平安な時となる一年であることを切に願います。そして、忙しくても疲れていても手を抜かないで一生懸命に作る職員の料理の一つ一つが、子どもたちにとって、楽しい思い出や愛情、幸福感を想起する特別な料理のひとつになってゆくことを心から願います。

支援者の皆様、関係者の皆様、職員の皆様、本年もよろしくお願ひいたします。





弱さを絆に

さんあい 施設長 平本 実

12月に開かれたさんあいのクリスマス会、第1部の礼拝メッセージでは、イエス・キリストの誕生が貧しく、小さく、弱いとされた人々にまず最初に知らされたこと、そしてキリストは人に世話をしてもらわないと生きることすらままならない乳飲み子として生まれたことの意味を共に考えました。

あの戦争から80年を経た2025年も、国内外で物価高と格差の広がり、分断と争いが続きました。少子高齢社会の進展は、人手不足という形で私たちの社会生活自体の行き詰まりを予見させ不安がつのります。聖書の時代から今まで、社会で生き残るために、人々が求めたのは「強さ」でした。

他方、高齢、障害、ジェンダー、国籍などの理由で差別される人々、そして子どもたちは、「弱者」とみなされてきました。聖書は、そのような「弱者」こそが幸いであります。世の光となると語っています。乳飲み子はもちろん、子どもたちの多くは他者の世話や護りなくしては生きていけません。しかし、キリストの誕生は、そのような弱いとされる人々の中に美しさや豊かさ、優しい社会を形作る芽があることを示唆しています。子どもたちの弱さの中にこそ、「効率至上主義ではない、新しい社会の可能性」*があるのだ、と信じます。「弱さを絆に」新しい年も職員一同、子どもたちと共に歩んでいく所存です。

* 高橋源一郎、辻信一『弱さの思想—たそがれを抱きしめる—』大月書店、2014年



ホーム長就任から半年が経って

三愛子ひつじ寮 ホーム長 釜谷 豊

私がホーム長職を拝命してから半年が経ち、その間に多くの入所者がそれぞれの道へと退寮していきました。障害福祉サービスの利用を経て精神科病院からのつながりで、精神科対応や通信制高校に特化した自立援助ホームへ移られた方、里親との関係不調を背景に入所し、ステップハウスでの生活を通して自立への自信を深め、保育士を目指して一人暮らしを始めた方もいます。また、遠方への高校通学とアルバイトを両立する中で、学校での人間関係に悩み、精神的な負担が強まった結果、進学を一時保留し、児童相談所を経て医療的ケアにつながった方もいました。最近では、親との学校生活や暮らしに対する考え方の違いから、コミュニケーションのすれ違いが生じ、一時保護として入所された方もいます。

こうした方々と関わる中で、大人の価値観や都合によって進路や生き方を決められ、それに反発し苦しんでいる若者が少なくないことに気づかされました。大人が考える「安全で良い道」をこの自立援助ホームでも同様に押し付けてしまえば、本人を追い詰め、居場所を奪うことになります。来年の子ひつじ寮では、一人ひとりのより豊かでその人らしい生活をまず尊重し、それが可能かどうかを共に考えながら、自らより良い選択ができるよう支援していきたいと考えています。あわせて、集団生活の場として、共に暮らすためのマナーや生活スキルの向上にも力を入れてまいります。誰もが「ここにいていい」と感じられる居場所づくりに、職員一同引き続き取り組んでまいりますので、本年も三愛子ひつじ寮をよろしくお願ひ致します。

2文字に込めた今年の目標

男の子オリーブ 笑顔

色々な事情により、さんあいで生活することになった子ども達。始めは慣れない環境で不安だと思いますが、ここで生活をしている間は皆笑顔で楽しく過ごして欲しいと思います。『笑う門には福来る』と言いますが、沢山笑って免疫力を上げ、職員も子どもも心身共に健康新に過ごせれば、それだけで幸せな1年だと思います。

女の子オリーブ 充実

昨年は子ども会議やアドボケイトの実施等、子ども達が安心して暮らせるように意見を聞く機会を多く作ることができました。今年も継続して自分の意見を言える機会を作り、要望が実現できる環境を整えていきます。単調な生活を退屈、嫌だ、と感じずに、成長していく過程の場としてとらえて日々を暮らせるように努めます。

ねむの木 挑戦

苦手なこと、怖いこと、初めてのこと…嫌なことからは逃げたくなります。ですが挑戦することで、楽しさや新たな成長も感じられます。失敗しても何度も挑戦できるように、職員が少しでも支えていき「失敗してもいいんだ」と思える安心できる環境を作りたいです。また高校受験や小学校入学等、大きな節目に立つ子どもたちがいます。それぞれの挑戦を応援し、お互いに支え合えるねむのきにしていきたいです。頑張れ！！

いちょう 本音

昨年は正解や指導よりも子ども達がどう思っているのか?どう関わってほしいのか?本当は何を感じているのか?に職員が目を向けて話を聞いたり関わりを持っていく事が、子ども達の安心に繋がると感じた1年でした。泣きたい、怒りたい、甘えたい、言葉にできない気持ちも全てその子の本音と捉え、今年は大人目線で決めつけず、子どもの立場に寄り添い同じ目線で話を聞いて沢山話し合い、より良い関係性を築いていきたいです。

ぽぶら 平穏

昨年は入学や部屋移動などで環境の変化があった子が多く、目まぐるしく1年が過ぎ去っていました。2026年は退所する高校生や小学校を卒業する子もいるので、一日一日を大切に、丁寧に毎日を過ごしていけたらいいなと思います。穏やかに過ごせる居場所を提供するため、まずは一人一人の話によく耳を傾けていきたいです。

ひのき 元気

ひのきはパワーに溢れた賑やかな部屋ですが、新年もひのきらしくそれぞれが元気に過ごせたらと思います。身体の健康はもちろんの事、何かに興味を持って取り組んだり、新しい事に挑戦したり、苦手な事も敢えて頑張ってみたり…心も元気に活き活きとエネルギーをもって過ごせる一年になればいいなと思います。職員もリフレッシュしながら、元気な身体と心で子ども達と向き合えればと思います！

かしの木 成長

昨年を振り返ると、少しずつ成長していた子ども、大きく成長した子ども…、ペースは違っても子どもたちの個々の成長をたくさん感じることができました。職員も、以前は難しかったが今はできるようになったこと、子どもとの信頼関係が築けたこと等、成長することができたと感じます。2026年も現状に満足せずに、子どもと一緒に沢山成長できるようにしていきたいです。

もみの木 協力

2025年は職員の入れ替わりが多くありましたが、お部屋全員で怪我なく楽しく過ごすことができました。子ども達は遊びの中で協力をし、職員は日々の報連相を大切にしてコミュニケーションを取ることを意識しました。2026年は昨年度以上にお部屋全員で協力をして、より良い生活を送っていきたいです。協力をしてなにか1つのことを達成できればいいなと思っています。

子ひつじ寮 クリスマス会

子ひつじ寮で開催したクリスマス・パーティーでは、今年は会食に先立ってクリスマスの本当の意味について考える厳かなひと時を入所者と職員共に持ち、皆の健康が守られ一年を過ごすことができた感謝の祈りを捧げました。会食では、手作りのピザや女の子が中心に作ったシュークリームが食卓に並びました。みんなが負担なく楽しめるように、手作りの部分は少し残しつつ、他の食べ物のフライドチキン・サラダ・飲み物は購入したもので賄いました。今回は立食にしたこと、普段、ゆっくり話す機会の少ない人同士でも交流が生まれ、良いコミュニケーションの時ともなりました。また、今年、新しく購入したクリスマツリーとオーナメントには、みんなで思い思いの飾り付けをしました。ギター好きな入所者とホーム長のギターに合わせて皆で歌も歌って楽しい時間を過ごすことができました。



チームさんあい 新メンバーの紹介をします



高橋 和江

- Q1 埼玉県行田市
Q2 寝つきがいい
Q3 穏やかな職員
Q4 最近、競馬にハマっているのでいつの日か有馬記念を見に行きたいと思っています。30年以上病院に勤務していました。総合病院に10年、精神科に20年くらいです。健康に気をつけて働いていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

- Q1 出身地
Q2 特技
Q3 こんな職員になりたい
Q4 自己PR



福島 唯暉

- Q1 埼玉県長瀬町
Q2 学生時代に打ち込んでいた自転車競技です！
Q3 優しくて頼りにされる職員
Q4 心配性なので細かい事まで質問してしまうかもしれません、その分着実に成長できるように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。



関口 さくら

- Q1 群馬県 高崎市
Q2 鉄棒です。
Q3 子どもたちが安心して気持ちを話せる存在でありながら、子どもと一緒に成長していける職員になりたいです。
Q4 未経験で分からないことが多いですが、子どもたちの声に耳を傾け、安心できる関わりを大切にしながら、先輩方に教えていただいたことを素直に学び、感謝の気持ちを忘れず、信頼される職員を目指して頑張ります。

さんあい クリスマス会

今年も子ども達、職員、支援者の方々と共にクリスマス会を行うことができました。

みんなが揃ってクリスマスのお祝いができたこと、おいしいお料理を心ゆくまで味わいお腹一杯食べられたこと、楽しい時間を共有できたことを感謝するひと時でした。さんあいのクリスマスのために、多くの方からクリスマスケーキやチキン、プレゼント等のご支援を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

第一部 礼拝



クリスマスのお話を聞き、キリスト生誕のビデオを観ました。オリーブの子ども達によるキャンドルサービスの後、今年もガザの支援のためにみんなでクリスマス献金を捧げました。献金は 66,000 円になりました。



第二部 祝会

祝会では、ご馳走をいただきお腹を満たした後、順番に出し物をして楽しみました。ワクノビクラブの歌や、小学生有志の手品は予めビデオ撮りをしてあったものを上映。

”ツッパリ”男の子たちや幼児さん、女の子たちのダンスに歓声と拍手があがります。締めくくりの新任職員による〇×クイズでフロアは大盛り上がりでした。



乾杯！



サンタさんとトナカイさんが
プレゼントを届けてくれました。



小学生男子によるダンス



幼児さんはアンパンマンを踊ってくれました。



女の子たちのダンス♪



新任職員による出し物

部屋対抗〇×クイズ。正解はどっちだ？

ねむの木

季節は変わり、寒さが厳しい季節となっていましたが、相変わらずねむの木のお部屋の中は笑顔で溢れています。小学校入学に向けて平仮名の練習をする子や、涙を流しながらも諦めずに自転車の練習をする子、受験勉強に奮闘する子など子どもたちの頑張る姿を見守っていると、成長のスピードに驚かされることや感動する事も多いです。休日は寒い中でも、外で元気に遊びまわる子どもたちを見ると、職員も負けていられないといった気持ちになります。楽しい冬休みの行事が続き、胸を躍らせる子どもたちですが、病気や怪我には注意をしていき、楽しく一年を越せるよう職員がサポートしていきたいと思います。

（新海）

子ひつじ寮

現在の利用者は全員成人です。高校卒業や専門学校入学を目指す子、将来就きたい仕事について真剣に考え、就職に向けて自己分析や適職診断に取り組む大学生などです。自らの生き立ちや抱えている苦悩と葛藤しながら、確実に成長する姿を目の当たりにしています。自分の気持ちや考えを話し、それを受け止めてくれる人がいる。その日々の積み重ねが他者への信頼感や自信を生むのではないかと感じています。（佐藤）

フラッグポール

法人創立 50 周年を記念するモニュメントとして石や金属を彫ってつくるものを考えていました。しかし具体的に調べた結果、みんなの目に留まるようなサイズのものになると高額になってしまふことがわかりました。またモニュメント自体は子どもたちの生活に直接的に恩恵をえません。そこで安価でモニュメントとしての役割を果たし且つ子どもたちに恩恵を与えるもので再考しました。関連ワードでネット検索する中で記念プレート付のフラッグポールに行き着きました。これは旗を掲げるアルミ製のポールで、さんあい祭りやクリスマスの飾りにも活用できます。またポールに 50 周年の記念の言葉を印字したプレートを付けることもできます。12 月初旬に記念プレート入りのフラッグポール 2 本を中庭の隅に設置いたしました。（高瀬）

いちょうの広場



いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は同封の振込用紙、または下記の口座にお願いします。＊お名前をお入れください＊
埼玉りそな銀行 岡部支店（普）0058888 フクサン・アソシエイツ

アニマルクラブ

アニマルクラブでは、11 月に二匹の犬を連れて大きなドッグランのある森林公園へお散歩に出かけました。様々な犬種、数えきれない頭数の犬達を目にした子ども達は驚き、その中で元気に走り回る二匹の飼犬を見て更に感動し心が豊かになる時間を過ごしました。それから、牧場見学にも行きました。さんあいは畜産業の盛んな地域にありますが、実際に動物と触れ合う経験をした子はいません。今回、近隣の牧場の方のご厚意で見学させていただきました事ができました。自分よりも大きな生き物に触れる経験から、体の温かさ、毛質、匂い、鳴き声など五感が刺激されるよい体験となりました。（村尾）

クリスマス・コンサート

「コロレブーケ “Colore Bouquet”」は「それぞれの個性を束ねて、素敵なお届けする」を合言葉に活動している音大生ユニット。新條月渚さん／ボーカル、植松姫菜さん／ピアノ・フルート、内田悠太さん／サクソフォン、遠藤乙彩さん／ピアノの 4 人が来園し、クラシックやポップスの名曲の歌と演奏で子どもたちを楽しませてくださいました。最後は、子ども達から感謝の花束贈呈。アンコールにも応えてくださいました。心の中まで暖まるクリスマスのプレゼントでした！（平本）

オリーブ

人手不足のために 9 月から一時保護受託を休止していた男の子オリーブですが、12 月から 4 か月ぶりに再開することができました。

誰もいなく静かだったお部屋に、久しぶりに子ども達の元気な声が響き渡り、温かい気持ちになりました。

新しく入った子ども達は環境に戸惑いながらも、無邪気に、元気に過ごしています。子ども達が笑顔で安心して暮らせるよう、またお手伝いしていきたいと思います。（小町）

編集後記

新しい年を迎え、施設では冬休みならではの時間が流れています。寒さの中でも元気いっぱいに外遊びを楽しんだり、少し足をのばしてお出かけをしたりと、子どもたちは日々の生活を重ねています。こうした何気ない日常を積み重ね、今年も一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、成長を支えていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（広報タスクチーム一同）